

「鳥取発・政策主導型予算編成システム」の実施**□ 昨年度は骨格予算につき、本格的な政策主導型予算編成は今年度がスタート!**

⇒H23当初予算・H23, 6月補正を踏まえた改善を行う

- ・ 部局長級での議論の機会を充実
- ・ 予算要求作業と一連となった作業手順による省力化

□ 県民の皆さんとともに政策立案

⇒県民参画によるプロジェクトチーム等による施策提案

その他、県民・団体等の皆さんとの意見交換や、県政モニター・パブリックコメント等により県民意見を聴取

□ とっどりの未来づくりのため、アジェンダ・政策項目の実現・達成に向けて、大いなるステップアップを図る予算に!

⇒各部局とも積極的なチャレンジを!

既存事業の効果を検証し、大胆なスクラップ&ビルドも必要

平成24年度当初予算「鳥取発・政策主導型予算編成システム」 政策戦略会議の進め方・スケジュール (案)

=昨年度との変更点=

▶政策戦略事業を練り上げる議論を行う「政策戦略会議幹事会」を、部長級の意見交換に変更(昨年度は課長級での議論)

第1回 政策戦略会議 (本日:9月13日)	新たな政策課題・方向性の提示・協議
第2回 政策戦略会議 (10月中旬:予算編成会議と 同時開催を想定)	各部局・各PTの検討している事業のアイデアについて意見交換
政策戦略幹事会の各部局との 意見交換 (10月下旬~11月)	各事業・アイデアについて 統轄監をトップとする”政策戦略会議幹事会”と意見交換を実施 ⇒ 事業内容について検討を深めていく (別途、パブリックコメント等を実施)
第3回 政策戦略会議 (12月中旬を予定)	平成24年度政策戦略事業の方向性について決定 ⇒ 事業化判定の実施

[H23当初予算時 政策戦略会議 開催状況 ①H22.9.8日、②H22.10.18、③H22.12.15]

※必要に応じて、別途知事と各部局との意見交換を設定

平成24年度当初予算「鳥取発・政策主導型予算編成システム」 県民の皆さんとともに政策立案

★ 県民・団体等との意見交換を実施

- 「出前〇〇部(仮称)」等による意見交換の実施
 - …各部局等は政策戦略事業を検討する参考とするため、県民・団体等の皆さんと意見交換を行う場を設け、積極的に現場からの意見を聴取すること。

★ 県民参画によるプロジェクトチーム等による施策立案

- …県民・団体の皆さんと課題等を共有し、解決に向けた取り組み・方向性を共に議論し、施策立案の参考とすること。

★ 県政モニター・パブリックコメント等による県民意見の聴取

- 政策戦略会議での議論等について、県政電子参画アンケート、パブリックコメントを実施する。(第3回会議前を目処に実施)

平成24年度当初予算「鳥取発・政策主導型予算編成システム」 政策検討における戦略的視点

視点1 アジェンダ・政策項目の実現

- 各政策項目の実現・達成に向けた取り組みを施策化
- 工程表等を基に、これまでの取り組みを評価し、新たな視点による取り組みを施策化

視点2 未来づくり推進本部各プロジェクトでの 検討による新たな取り組み

- 各PTの課題解決に向けた新規・戦略的案件の施策化

視点3 将来ビジョン【県政運営の基本指針】の実現

- 主な目標指標(59項目)の実現を図るための施策化
- 主要6分野の「取り組みの方向性」に掲げる主要項目の実現を図るための施策化
- ポテンシャルを活かした活路を見いだす分野に関する重点的な施策化

視点4 さらに新たな政策課題・方向性へのチャレンジ

- 次代を見据えた新たな課題・方向性へのチャレンジを施策化
- これまでの取り組みを一歩進め、ナンバーワン・オンリーワンを目指した取り組みを施策化

平成24年度当初予算「鳥取発・政策主導型予算編成システム」 政策戦略事業の考え方（案）

- ◆ 5つのアジェンダ、40の政策項目の実現に向けた新規事業
- ◆ 未来づくり推進本部各プロジェクトチームでの検討事業
- ◆ 上記以外で、政策戦略会議幹事会からの指示項目に対応する事業、並びに個別対応が求められる事業

過去政策戦略事業本数：H23当初→140事業超、H23,6月補正→65事業

- 政策戦略事業として検討する項目の案として、今回「とつとりの未来づくりに向けた新たなテーマ・方向性」(たたき台)について作成。
- 10月中旬に開催する第2回の政策戦略会議までに、各部とやりとりを行いながらさらに項目について検討を行う。
- 第2回の政策戦略会議において、政策戦略事業として検討する項目を決定し、事業の練り上げ作業に入る。

平成24年度当初予算「鳥取発・政策主導型予算編成システム」 当初予算編成日程案

区分	政策戦略事業	一般事業
9月13日	第1回政策戦略会議	
10月上旬	(9月議会)	
10月中旬	予算編成会議・要求通知、第2回政策戦略会議	
10月下旬	・未来づくり推進本部各PTによる議論 (24年度事業化するものは11月中目途) ・担当部長と、統轄監をトップとする 「幹事会」との意見交換 事業化判定の実施	要求書作成
11月上旬		要求書提出
11月中旬		要求聞取(財政課長)
11月下旬	第3回政策戦略会議 (政府予算案決定・地財決定) → 幹事会議	一般事業計上案整理
12月上旬		ファイナルレビューによる変更はありうる前提。
12月中旬	知事要求に向け、最終的な 論点整理などのサポート。 各部署等の新規要求 状況や政府予算 案決定を受けた財 政推計、公共事業 の状況説明等を実施。	原則、国制度の判明など計上案内示後の事情変更等に対応するもの。考え方の違いのある案件の再調整や、重要度に対応して知事判断が必要な案件もあり。
12月下旬		一般事業計上案内示・公表
1月上旬		調整要求
1月中旬	総務部長 事前調整	ファイナルレビュー (・査定・内示)
1月下旬	当初予算知事報告 政策戦略事業聞取 (・査定・内示)	全事業が対象。知事による最終調整が必要なものについては知事聞取を実施。
2月上旬	政調政審・知事査定・内示	
2月中旬	公表	
2月下旬	2月議会開会	

とっどりの未来づくりに向けた 新たなテーマ・方向性（たたき台）

～平成24年度当初予算政策戦略会議において議論する項目【未来戦略課(素案)】～

重点テーマ

○「まんが王国とっとり」建国YEAR

- ・マンガ・アニメ関連の全国的なイベント開催（誘致）
- ・県民運動的な展開（まんが教材活用、産業界のデザイン力向上）
- ・国際マンガサミットの成功、関連イベント等による全国からの誘客
- ・ポスト「国際マンガサミット」を見据えた取組

（アニメ・コンテンツ産業の育成・創出、インキュベーション施設等拠点施設の検討）

○北東アジアゲートウェイ ～セカンドステージ～

- ・上海定期航空便など新たな世界への路線の誘致
- ・日本海側拠点港選定を契機とした境港機能強化
- ・中国市場展開を睨んだ新たなチャレンジ

（鳥取ブランド発信による県産品販売・インバウンド対策、上海へのアンテナ拠点設置）

○大災害の教訓を活かした災害に強い地域づくり

- ・津波対策、大雨洪水対策の強化
- ・新たな地域防災計画とその対応
- ・鳥取方式の地域消防防災体制整備
- ・「とっとり発 エネルギーシフト」への挑戦

（省エネ対策の推進、エネルギー拠点形成に向けた検討）

○高速道路開通を見据えた産業振興

- ・鳥取自動車道、山陰道、倉吉道路等の開通を見据えた
新たな物流・観光・企業誘致対策
- ・企業リスクマネジメントによる「鳥取シフト」支援を強化
- ・高速道開通後の旧沿道地域活性化対策（琴浦・因幡街道等）
- ・農林水産品の供給拠点としての鳥取県（流通改革、販路拡大）

○中小企業底力アップ支援

- ・経営革新企業の持続的成長を支援（鳥取県版「経営革新」支援制度の構築）
- ・経済環境変動に耐え得る企業体質への転換
（マザー工場化に向けた研究開発・高度専門人材確保特段の支援、海外企業との取引拡大）
- ・中小企業の人材確保支援

（学生・保護者へ情報発信、育成・斡旋・マッチング仕組みづくり）

○人財育成とっとり

- ・ 30人学級の拡充
- ・ 未来のリーダー育成
(大学と連携した選抜高校生による課題研究、国際社会での活躍を目指す留学支援)
- ・ 学びと指導の鳥取方式、未来を拓くスクラム教育のステップアップ
- ・ 「働く力」の向上(企業ニーズに応じた労働教育、高卒就職率UPのための学科検討)
- ・ 地域で活躍するリーダーの育成
- ・ 医療・介護等福祉現場の人材育成

○地域資源を磨き、活かして「鳥取の誇り」を創造

- ・ ガイナーレ鳥取との連携
- ・ 公立化する鳥取環境大学とのコラボレーション
- ・ 民間の力を「活かし・育てる」鳥取力・新しい公共の推進
- ・ 地域のつながり輝く鳥取県(震災後の社会貢献意識の高まりを活かした取組)
- ・ 鳥取が誇る地域資源のさらなる磨き上げ
(山陰海岸ジオパーク、マンガ王国、自然環境 等々)

重要項目

○経済成長戦略断行(地域資源活用産業の推進)

- ・ 「環境・エネルギー関連産業」の取組を加速
〔EV・自然エネルギー関連産業の育成・集積、リサイクルビジネス、メガソーラー誘致・地域活性化総合特区を契機とした自然エネルギー関連産業の集積促進〕
- ・ 「バイオ関連産業」の取組を加速(バイオフィロンティアを核とした産業育成・集積)

○鳥取で働かいた! 雇用創造チャレンジ

- ・ ポスト緊急雇用対策
- ・ 拡げる、高める、鳥取の障がい者就労(農福・工賃アップ)
- ・ 「量」と「質」の両立を目指した雇用対策(「良質な雇用」の創出)
- ・ 中小企業の人材確保支援【再掲】
(学生・保護者へ情報発信、育成・斡旋・マッチング仕組みづくり)

○「食のみやこ鳥取県」の全国展開

- ・ 国内(関西)・国外(上海等)でのアンテナショップ・インショップの展開
- ・ 「食のみやこ鳥取県」を全国での認知向上
(首都圏での「鳥取」認知度向上、リーディングブランド戦略と連携した「地域ブランド戦略」)

○もっとやらいや農林水産業

- ・新規就農林水産500人に向けた取組強化
- ・企業参入等を含めたクラスター産業創造・ブランド化
(温室栽培による花き、菌床栽培きのこなどの産品)
- ・「若者に魅力ある農林水産業」に向けた更なる取組(ITの利活用、販売支援等)
- ・産地活性化対策(産地プランを支援するハイパーチャレンジプラン)

○健康長寿いきいき社会・シニア人材活用

- ・高齢者の社会参加活動の促進
- ・エイジレス・ライフのすすめ(シニア社会貢献活動、シニア起業)
- ・介護人材の育成・確保(県立高校における介護学科の新設検討)

○支え愛のまちづくりの展開

- ・クラウド型見守りネットワーク(民生児童委員・NPO・福祉推進員等が有機的に連携)
- ・支え愛まちづくり県民行動指針の策定・実践

○皆で支える鳥取の地域医療

- ・医師・看護師確保策の充実
(医師を目指す高校生の学習プログラム開発、県外在住医師の県内就職支援)
- ・医療現場で働く女性の支援(院内保育の推進、離職看護職の再就職支援)

○生活習慣病対策の推進

- ・健康づくり文化創造運動の推進
〔ウォーキングのほかサイクリング等によるエコ型健康づくりの推進、生涯スポーツと連携した運動習慣定着化、食育による健康生活づくり〕
- ・健康づくり文化創造プラン2012目標値の達成に向けた取り組み
- ・定期検診・がん検診、受診率向上策(受診率全国1位に向けた取組)

○誰もが働きやすい環境づくり

- ・働く女性の就業環境向上(医療現場で働く女性支援、保育士の定着支援)
- ・障がい者の就業環境の改善(工賃3倍増の推進)
- ・エイジレス・ライフのすすめ(シニア起業)

○子育て環境日本一の推進

- ・ライフステージに応じた切れ目のない取組の推進
- ・子育て指標全国順位アップの取組
- ・婚活応援プロジェクト(婚活ポータルサイトの開設、婚活コーディネーターの配置紹介)
- ・男女ともに協力して子育てできる職場環境の促進
(医療現場で働く女性支援、保育士支援、県内事業所でのワークライフバランスの推進)

○スポーツを活かした鳥取力向上

- ・ ガイナーレ鳥取との連携
- ・ 全国規模スポーツイベントの誘致、観光とのタイアップ、
スポーツリゾートの推進
- ・ 「鳥取方式の芝生化」の全国・国外展開
- ・ スポーツコミュニティの推進による活力ある地域づくり
(総合型地域スポーツクラブの育成支援)
- ・ 競技力向上! トップステージへ(日本代表レベル選手の育成支援)

○子供の体と心育成プロジェクト

- ・ 不登校対策の充実(地域で支える支援施策、支え愛による生徒見守り)
- ・ いのちの教育の推進(防災、障がい者との共生、地域社会などの総合教育)
- ・ 「働く力」の向上(企業ニーズに応じた労働教育、高卒就職率UPのための学科検討)
- ・ 運動部・文化部活動の活性化(全国的な名物となる大会の創出)

○学力向上プログラム

- ・ 学力向上対策の充実強化(難関校チャレンジ支援、生徒の向上心対応、民間講師活用)
- ・ 各種連携強化による学力向上・教員力向上(中高連携、予備校との連携)
- ・ 未来のリーダー育成
(大学と連携した選抜高校生による課題研究、国際社会での活躍を目指す留学支援)
- ・ 学びと指導の鳥取方式、未来を拓くスクラム教育のステップアップ
- ・ 英語教育の推進(小学生から英語に親しむ環境づくり)

○とっとり環境イニシアティブ

- ・ 再生可能エネルギー「自給率日本一」を目指した対策
- ・ 県民・民間への環境意識の醸成(県民運動的取り組み)
- ・ 未来へつなげる森林づくり
(県民・企業参加による森林づくりの更なる推進、将来の環境を見据えた森林づくりの検討)
- ・ 湖沼環境の改善(湖山池ビジョンの推進等)

○外国人観光客を倍増

- ・ 「国際リゾート“Tottori”」へのステップアップ(多言語化・ナンバリング等対応
などの外国人客向けの環境整備、語学研修支援、各種プロモートの実施)
- ・ 北東アジアゲートウェイ・セカンドステージ【再掲】

○鳥取まるごとニューツーリズム

- ・ エコツーリズム、スポーツツーリズム、グリーンツーリズム、ブルー
ツーリズムなどの各種ニューツーリズムの振興、効果的な情報発信
(大山等の地域ブランド化、グリーンツーリズム・モデル実践地区の創出)

○「アーティスト・リゾート鳥取」への進展

- ・ 全国から鳥取が注目を浴びる先導的な取組
(舞台・美術のほか音楽・パフォーマンスなどの取組、観光・地域づくりと一体となった取組)
- ・ アーティストが集まる鳥取県
(アーティストにとってのインセンティブづくり、美大生等の合宿誘致&作品展の開催)
- ・ エンジン01を契機とした新たな文化創造取組

○観光地ブラッシュアップ

・ジオパークの国際化・知名度アップ

(他地域との連携(特典付スタンプラリー)、メディア戦略)

・古事記編纂1300年記念の展開(島根県とタイアップしたイベント、集中的な広報)

○ようこそようこそIJU(移住)鳥取県

・「週末県民」受け入れ促進(退職前のお試し居住)

・新しいライフスタイルの提案

・価値観の変化を捉えた新たなIJU施策

○中山間地域の振興

・中山間地域振興条例の見直しと新たな中山間施策の展開

・各種生活支援策の充実強化(生活交通対策、買い物支援、医療対策)

○ボランティア参加日本一の磨きあげ

・総合ボランティアバンクの設置

・地域づくり団体等のネットワーク拡充支援